

# 令和2年 年末の 交通安全県民運動

実施要綱

実施期間

12月15日(火)▶12月24日(木)

重点

- 飲酒運転の根絶
- 歩行者の道路横断時の交通事故防止
- 高齢運転者の交通事故防止



スローガン

夕暮れの一番星は  
反射材

交通安全図画最優秀作品(令和元年度知事賞)  
長崎県立長崎南高等学校2年(当時)

せき わかな  
関 和 奏さんの作品



主唱 長崎県交通安全推進県民協議会

## 運動の 目的

本運動は、県民一人一人に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、県民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的とします。

## 重点1 飲酒運転の根絶

年末年始は、お酒を飲む機会が増えます。

運転者はもちろんのこと、県民一人一人に対して広く飲酒運転による交通事故で尊い命が失われていることを呼び掛けて、「飲酒運転は絶対にしない。」という規範意識を高め、社会から飲酒運転を根絶するために、以下の事項を推進します。

### 運転者



- 飲酒運転は犯罪であり、刑事罰・行政罰を受けるだけでなく、交通事故を起こしたときには、民事上も厳しい責任を負うこととなることを自覚して、「飲酒運転は絶対にしない」という強い意志を持ちましょう。
- お酒を飲む予定があるときは、あらかじめ車両を運転して行くことのないよう徹底しましょう。
- お酒を飲んで一定時間が経過しても、体にアルコールが残っていれば酒気帯び状態となります。お酒を飲むときは、翌日の運転予定を考えて、飲酒するようにしましょう。

### 家庭、学校、地域、職場

- 日頃から、飲酒運転の悪質・危険性や飲酒運転事故の悲惨さを話題にして、飲酒運転を絶対に許さない環境づくりに努めましょう。
- 飲酒運転をしないための検討会の開催、運転開始前のアルコールチェッカーによる確認など、職場全体で飲酒運転をさせない環境を整備し、飲酒運転の根絶に取り組みましょう。



### 関係機関、団体



- 各種メディアを活用して、ハンドルキーパー運動を推進するとともに、
  - ◇ 運転者への酒類提供禁止
  - ◇ 飲酒者への車両提供禁止
  - ◇ 飲酒運転車両への同乗禁止を広く呼び掛けて、飲酒運転の根絶に向けた広報啓発活動を展開しましょう。

## アルコールの影響について

アルコールは脳の正常な働きに影響を及ぼし、体重60kgの人でビール1杯(500ml)を処理するのに約4時間かかるといわれています。(身体の大きさ、体調等により異なります。)

二日酔いでも酒気帯び運転になりますので、翌日に運転の予定があるときは、深酒はやめましょう。

## 重点2 歩行者の道路横断時の交通事故防止

横断歩道では歩行者が優先ですが、県内では、横断歩行者が横断歩道で待っていても停止しない車両が多く見られるなど、運転者の歩行者保護意識は決して高いとは言えません。

また、歩行者も、近くに横断歩道があるのに横断歩道ではない場所を横断したり、横断禁止場所を横断するなど、歩行者が横断ルールを守らないことも交通事故の原因となっています。

運転者の歩行者保護意識と歩行者の横断ルールを守るという意識の向上を図るため、以下の事項を推進します。

### 運転者

- 運転中は常に歩行者の存在を確認し、子供や高齢者の近くを通行するときは、安全な間隔を保ち、安全な速度に減速しましょう。
- 横断歩道では歩行者が優先です。横断歩道手前では、歩行者の有無を確認し、歩行者がいるときは必ず停止して、歩行者に道を譲りましょう。
- 運転中は運転に集中し、脇見・ぼんやり運転は絶対にしないようにしましょう。



### 歩行者

- 道路を横断するときは近くの横断歩道を利用し、横断する前には手を挙げて、運転者に「手のひら」を示して横断の意思表示をしましょう。
- 道路を横断するときは、左右の安全を確認し、車両が来ているときは、車両が止まるのを確認してから横断を開始しましょう。
- 高齢歩行者は、年齢を重ねるにつれて歩くスピードが遅くなり、横断に要する時間が長くなります。横断途中も左右の安全を確認し、特に、左から走ってくる車両の確認をしっかりとしましょう。
- 横断禁止場所での横断は大変危険ですので、絶対にやめましょう。（横断禁止場所には標識が設置されています。）
- 横断禁止場所以外でも、交通量が多い道路、カーブで先の見通しが悪い場所、夜間に暗い場所などでは、横断しないようにしましょう。

### 家庭、学校、地域、職場



- 道路の正しい横断方法について話し合うなど、歩行者が交通ルールを守るといった意識の向上に取り組みましょう。
- 子供は大人の行動を見ています。大人が子供の手本となるように交通ルールを守り、子供には正しい交通ルールを教育しましょう。
- 横断禁止場所や交通量の多い危険な道路を横断しようとしている人を見かけたら、横断しないように声掛けしましょう。

横断禁止標識



この標識が設置された道路は、横断することが禁止されています。

交通量が多く、横断することが危険であるため横断が禁止されていますので、この標識がある場所では、絶対に横断はやめましょう！

## 重点3

# 高齢運転者の交通事故防止

近年、交通事故は減少傾向にありますが、社会全体の高齢化に伴って、運転免許人口に占める高齢者の割合、交通事故件数に占める高齢者が関係する事故の割合は年々増加し、全国的には高齢運転者による重大交通事故も発生しています。

高齢運転者による重大交通事故の発生を未然に防ぐため、以下の事項を推進します。

### 高齢運転者

- 日頃から自分の運転を振り返り、客観的に見て危険な運転をしていないかどうか確認するよう心掛けましょう。
- 身体機能の変化を自覚して、ゆとりを持った運転に努めましょう。
- 体調や天候、道路状況等に応じた安全な運転を行い、不安があるときは運転を控えましょう。
- 運転を続ける必要がある高齢運転者は、安全運転サポート車の購入や後付けの踏み間違い防止装置の取り付けなどを検討しましょう。
- 自分の運転に不安を感じたら、家族や運転免許窓口に相談するなどして、運転免許の自主返納も検討しましょう。



### 家庭、地域、職場

- 親族、近所、職場等で、運転に不安がある高齢運転者がいるときは、運転免許の自主返納を検討するよう促しましょう。
- 高齢運転者の自動車に段々とキズが増えていく状態は、運転の危険性が高まっていると思われるので、そのような高齢運転者が身近にいるときは、家族に知らせるなどして重大な結果が発生するのを未然に防ぎましょう。

### 運動推進上の注意

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、運動の推進に当たっては、感染防止対策を万全にとりましょう。



密集回避



密接回避



密閉回避

## 県内統一行事

12月15日(火)	街頭指導活動	登下校指導をはじめ、子供・高齢歩行者の道路横断時の保護誘導などの街頭指導を強化します。 また、交通安全意識向上のための呼び掛けを強化します。
12月24日(木)	広報活動	
12月18日(金)	飲酒運転根絶強化の日	飲酒運転の根絶に向けた啓発活動を推進します。

令和2年 長崎県交通安全年間スローガン

守3つ交通ルール 高めよう交通マナー